

## 教職員研究チーム活動状況報告書

代表者の所	姫路市立花田小学校	研究チーム名
属・職・氏名	職・氏名 教諭 山口 百枝	(姫路子どものこころを考える会)

研究テーマ分類番号 (13)

(1) 研究テーマ
児童理解を基盤とした、さまざまな児童一人ひとりを大切にした指導のあり方
(2) 研究経過及び具体的な取組
<p>児童理解のための研修</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 毎月1回の学習会：講師（元姫路人権擁護委員会長）宅にて開催</li> <li>4月22日（金）各学校、各クラスの気になる児童の状況から、その背景を探り、今後の取り組みにつなげる。講師より、発達障害のある児童の表出例や関わり方を助言してもらう。</li> <li>5月27日（金）保護者との関わりと就学指導 保護者に対応する児童の実態の報告や連絡の仕方と関係機関との連携を探る。講師からは、保護者と児童、教師の相談を受けておられるカウンセラーの立場からの助言をもらう。</li> <li>6月17日（金）重度の障がいのある児童の実態と指導の方法から学ぶ。 講師：特別支援学校教諭 命にかかわる日々のケアと保護者同士のつながりの大切さから、児童の将来を見据えた福祉の実情と介助の工夫を学ぶ。</li> <li>7月22日（金）東北の被災地訪問の報告 写真と訪問体験者の話から被災の実態を真近に感じることができた。</li> <li>8月19日（金）1学期を終えて、気になる児童の成長と教師の関わり方を振り返り、2学期を見通した各行事の参加の方法を探る。</li> <li>9月22日（木）さまざまな発達障害に対応する学習指導の工夫 読み、書き、言語、計算についての指導の実践を持ち寄り、理解しにくい児童にどのようなスモールステップを用意して、目標を達成することができたか報告し、次の課題に向けて、どんなスモールステップを計画するか考えた。</li> <li>10月21日（金）前回の学習指導の工夫パート2、啓発資料の検討 工夫をした学習道具や教材を持ち寄り、検証する。</li> <li>11月18日（金）6ヶ月経った東北の被災地訪問の報告 被災地で出会った教師たちの活動の報告を聞き、姫路で自分たちのできることを探る。さまざまな震災体験から、いのちの学習の教材化を探る。</li> </ul> <p>次回は、12月16日（金）</p> <p>今後、1月29日（日）の『第11回子どもフォーラム』に向けて、パンフレットの作成と参加者の募集、会場等との打ち合わせを進める。</p>